

たつの市長に西日本大会出場決定報告



2019年10月3日にたつの市役所を表敬訪問し、たつの市長に2019年10月12-13日に静岡県伊東市、小室山公園体育施設伊藤市営テニスコートである第13回西日本小学生ソフトテニス選手権に出場することを報告してきました。

後列左から大村監督・井上副市長・山本市長・林父・角田顧問・教育委員会富井部長
前列左から圓尾母、圓尾乃愛選手・林孝弘選手・内海諒太選手・内海母

出場する3選手に西日本小学生ソフトテニス選手権にむけて抱負を書いてもらいました。

圓尾乃愛選手

県大会で3位になり、西日本大会に出場できることをうれしく思います。全国大会の個人戦では悔いが残っているので、東西対抗に出場することをはたし、リベンジをします。思いっきり、びびらず試合をしたいです。最高の思い出になるようにがんばります。自信をもって自分を信じて、ペアを信じて思いっきりプレーをします。がんばります！！

林孝弘選手

一番の目標は東西大会出場の権利を勝ち取ることです。今まで練習してきたことを全部出しきってがんばります。ファーストサーブを確実に入れて、レシーブはコースや速さを考えて、ミスを少なくプレーしたいです。最初で最後の大きな大会なので思いっきり楽しんでがんばってきます！

内海諒太選手

西日本大会の決意は3つあります。1つ目は大きな声を出すことです。大きな声を出すことで、相手が弱気になったり、強そうだなあと思わせられるからです。そして、ペアともり上がるからです。ぼくはペアよりも、もっと声を出したいです。2つ目は西日本大会に出れない子たちのぶんもがんばるということです。兵庫県のみんなが「行きたい！」という気持ちしか持っていなかったとおもいます。だからみんなのぶんもがんばってきます。3つ目は、先行することです。先行していったらそのまま流れをつかんだまま勝てるかもしれません。ぼくは、この3つのことを意識して西日本大会に行ってきます。